

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 25日

事業所名 きらりは一と那覇新都心

		チェック項目	はい	どちらとも いえなし	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	0	広く使うため体操用具等は適時片付け、机も折りたたみ式で用途に応じて設置している。	
	2	職員の配置数は適切である	5	0	0	配置基準以上の職員を配置している。送迎時には、その時に対応できる支援を行っている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	0	4		車いすの子の入所予定はなく改善予定なし。入口や導線については安全に考慮している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	0	MTGで目的・ねらいを話し合い、週に一度振り返りを行い評価している。日々の振り返りも終礼時に行い、明日以降の改善に繋げている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	0	事業所の評価をもとに、職員で討議をし、業務改善に繋げている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	0	保護者からの意向を確認するためミーティングを行い、職員全員が把握できるよう務めている。ホームページにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	0	4		行っていないが、保護者様から頂く声で必要な改善を行っており、好評の声を頂いている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	0		定期的に職員研修(体操補助練習など)を行っている。また、定期的に外部への研修に参加している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	契約時に、アセスメントシートに記入をしていただき、子の課題面・困り感等聴き取りを行い、職員間でMTGを行った上で、計画を立てている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	0	事業所と家庭で連携し、利用時のアセスメントを行っている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	0	職員間で連携し、療育活動の立案をスケジュールを組み行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	0	週ごとに発展していくようなプランを組み立てたり、前回も行って活動でも内容を変え、行っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	0	長期休暇の際には、遠方へのお出かけイベントを行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	個別での支援と集団活動を取り入れている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	0	毎朝のミーティングにて実施し、その子に応じて必要な配慮する点の共有を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	0	当日の支援終了後に、当日の出来事や共有事項、振り返りを行っており、改善点を洗い出し翌日以降の支援の向上に繋げている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	0	毎日記録をつけており、次のベースアップに繋げている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	0	半年ごとにモニタリングを行い、支援プランの見直しをしている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	0	0	体操を通して成功体験など、自己肯定感を高めるよう支援している。		

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	0	基本的には児発管が出席しているが、他の職員も対応できるような体制をとっている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	0	保護者へ下校時刻の変更や行事があれば連絡をお願いしている。学校からの変更なども共有してもらっており、保護者への共有も行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	0	2		現在、医療専門職員の採用予定がないため、受け入れ予定はない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0	0	就学前関係者会議を設けており、関係機関で情報共有を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	1	0		現在までに移行者はいないが、移行の際には情報を密にし提供するようにする。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	0	5		定期的に研修を受けられるよう、スケジュールを立て参加できるようにしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	0	5		戸外活動の際は、公園にいる他児との交流を図り活動をしているが、子ども園や保育園との交流機会は設けていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	0	5	定期的に研修を受けられるよう、スケジュールを立て参加できるようにしている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	0	送迎時に日頃の様子の情報を共有し、共通理解を持つよう努めている。必要に応じて面談する機会を設けている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	5	0	0	必要に応じて、研修や講習の情報を伝えている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	0	契約時に、保護者と確認をしながら行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	0	送迎時やお迎えの際に、個別に子育てなどの相談を行っている。	答えられない悩みなどに対しては、持ち帰って職員皆で共有し、必要な助言と支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0	0	父母会という名目で行っていないが、発表会やご家族を招待して行うイベント等で、保護者同士が繋がるよう、支援している。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	0	即対応を心掛け、職員間でも共通認識として話し合いを設け、適切に対応を行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	0	毎月カリキュラムの予定と会報を発行し、お知らせしている。	
	35	個人情報に十分注意している	5	0	0	個人情報同意書、写真掲載の同意書を契約時に確認し職員間で共有して取り扱っている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0	個別に対応しており、子・保護者に寄り添い対応をするよう職員間で連携しており、心がけている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	0	5		感染症対策もあり、地域と関わりを持つ機会が少ないため、今後保護者などと協力して計画していく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	0	各マニュアルを策定しており、契約時に周知をしている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0	年に2回、避難訓練を取り入れており、消火訓練や実際の避難先に行くなど、定期的に行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0	マニュアルを作成している。定期的に研修受講をしており、職員間での共有も行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	0	やむを得ない(利用児の危険に関わる)身体拘束等、職員間で周知徹底し、契約時に家族にその旨を伝えている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	0	保護者と連携し、完全除去で対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	0	ヒヤリと思う事態があると作成し、職員で共有をし、改善策を話し合っている。	